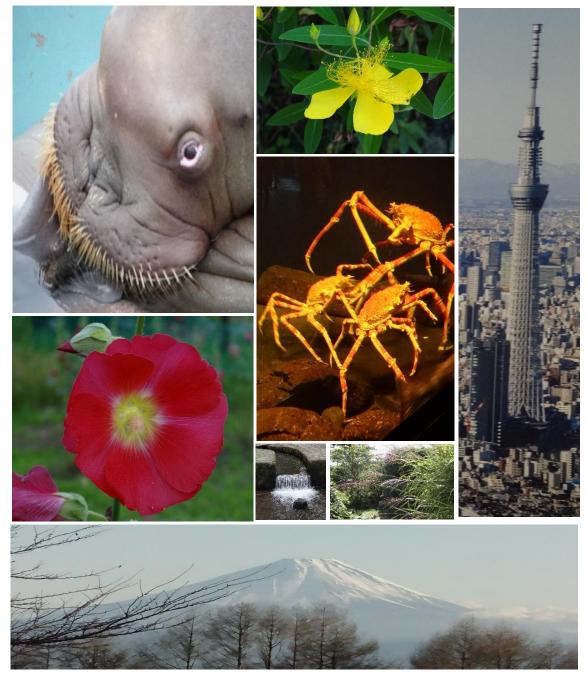


### No.15



i 12 P

- 菜の花の「明日も来たい!」を目指して
- 日野春學舎構想 今後の展望
- ハヶ岳名水会の地域の中での農業のあり方
- その他

### 明 日も来たい!」 を目指して

ビ十

ス「あおぞら」

と平成十七

年事

業

事業開

始  $\mathcal{O}$ 所

知

的 障

」害者デ

1

サー

花

は、



「さくら」 二名である いるが、多くは重度の身体と知的障害障害(発達障害含む)を対象としてはの名前として使っている。)。三つの ろで の花」について概略を述べてみたい。の設立から十二年が過ぎた現在の「菜 始 を主とした方々である。「あおぞら」 る(二十名定員、 ともに再スタートして現在に至って 花」を通所生活護事業所 して統合 花」に 用や他法人の入所施設からの利用もの入所施設・グループホームからのほとんどである。この中には、法人では、韮崎市十四名、北杜市二十七では、韮崎市十四名、北杜市二十七 身体障害者デイサー -代 九名、四--代 九名、二十公 - 二名、二十公 - 二名、二十公 - 二名、二十公 「菜の花」登録者数は、 ついて概略を述べてみたい。 障害者自立支援法施 あおぞらは活動場所 構成をみると ビス「菜 「菜の 花と 四十 行と  $\mathcal{O}$ 7)

奥本淳さん

である。 十十五歳代 歳か から四 ら六名 七十 十歳 厄 歳 以ま 七四 名名

高齢化も顕著し、最高齢は セントと 五歳 以 芸歳 名二人 下 二十六パーセント い以が 方の割り 全体  $\mathcal{O}$ 合が の五 三十五。 唐て、 上し五ーだかパセ

[期を迎えた方が増えてきて 期を迎えた方が増えてきていの方が多くいて、ある一定程関して言えば、三十代二十代いて知識がないのだが、「菜いて知識がないのだが、「菜

ずつ ~二名 学校 か 増え続けている。 らの の卒業生が毎 用 コンスタントに 相 談や紹 介 での利用も毎 1 一二名あり、 のころから支 毎年少 年 地

回る。 生活支援ニーズに重点が移っックしてアドバイスして欲しを提供してほしい、健康につ居に入りたい、バランスのとニーズから、ゆっくり休みた ヤの 何 空間 数も必 ら利 年々、 オー か 用 と入 の作業をし 増 のニーズは、 している。菜の花やあおぞら、入浴支援の希望者が増え、 バーとなる。 へ浴設備などは、そしている。菜の花や たい 日 という活 中 が移ってきていく欲しいなどの原についてチェ みたい、 活 とれ そろそろキ 動 発とし た食事 動 お風 重 視 7

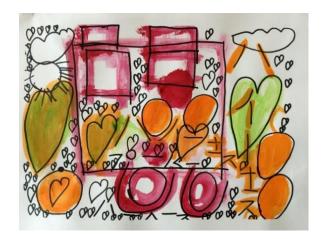
ることは 要とする人が増えてきたということで 沂 P 面 年 12 重 痰  $\mathcal{O}$ (の吸引などの医療的ケアを必特徴としてもう一つは、経管 度 化高齢: カ て、 って 菜化のの 制 11 的が多 たの して、少しずつ医 花には弱さが 所以であるが で、 中に 一に対策 境あ 0

> て、 りが医心医年業、通療も契度所 療と繋ぐことのできなかった何人か も手に入れることができた。 契約を結 通 度 所 面 良い効果が現れている。他の医療機関に紹介されたりし院をして服薬をするようになった からは、 登 職 医  $\mathcal{O}$ 録 療 強 などがそ 的の ば ケアを行うた 医 を 療的 せ 义 「ほくと診療」 て 0 いただき、更なる安 てきた。 である。 ア た  $\Diamond$ 所」と嘱  $\mathcal{O}$  $\otimes$ 県  $\mathcal{O}$ 護 既に、 指 研師 定修事派増 託 今

日中活動では、造形活動に力を入れている。樫村玲子先生、北村雅子先生なる展示会「みえないことづけ」は今をの正協力で、利用者それぞれが持つ潜在的エネルギーや主張を形にしている。樫村玲子先生、北村雅子先生なる展示会「みえないことづけ」は今年度で六回目となる。ぜひ多くの方に観ていただきたい。

ちな受は改が空け言修 言いがたい環境の中で修工事が始まる。あま十二月からは「菜のなていただきたい。 Ź 始めたことがうれしい。 たな環境の いた方 Þ のため る。 中での支援さる。菜の花スタ ための、静かで医療的なあまり良いを 花  $\mathcal{O}$ タ 大 方法を提 ンツフた で安心 条件と

> タッフが取り組みと思える「菜のth こひ 具体的 まりが 居場 想 菜の いき」して、 11 所があ 」を大切に、 な展望を皆さん 花  $\mathcal{O}$ Þ では、 る、 カフェ」と 花」を目指し 報交換を んでい 」き後 健康で楽しく、 、「**一人ひとりをえ** 、利用者それぞれの さんで描いている。 度 行も来たい!」 ĭ 0 √5<sub>₹</sub> お  $\mathcal{O}$ 将 茶 有 会を 来 志い 自分 へをのの通集  $\mathcal{O}$ カュ



小林慶子さん「ハイエース」

### 日野春學舎構想

# ~これまでの道程と今後の展望~

### 社会福祉法人 八ヶ岳名水会 企画事業部

### 窪川

### 敦之

がれてきた文化も意思も途絶えてし た施設しか残らない。 」 「あと10年もすると、地域で受け継 「このままでは枯れた地域と肥大化 「一歩を踏み出すなら今しかない。 ま

ありがとうございました。 活動展開が実現して参りました。 下:本構想)」を立案して活動を開始し 野春學舎」と名付け、ここを拠点とし 春小学校を北杜市からお借りして「日 様なアイデアと人材が集まり、幅広い す。この間、地域の方々を始め多くの てから早1年半が過ぎようとしていま た広域的公益事業「日野春學舎構想(以 たち八ヶ岳名水会が廃校となった日野 こ支援とご協力をいただくことで、多 そんな危機感と使命感をバネに、 誠に

> 部門」「アート企画部門」の3本柱で して「農業部門」「ブリッジスクール の活動の中で培った強み(資産)を活か だきたいと思います。 今後の展望についても触れさせていた ここで、これまでの来し方を振り返り、 まず、本構想は、当法人がこれまで

ます。 進めていく上で大きな励みとなってい 会的な意味も大きく、私たちの活動を 広く公に認めていただけた、という社 公益的に意義のある活動であることを 意味は勿論大きいのですが、加えて、 支えをいただいているという経済的な 動を進めていくにあたっての資金的な ています。これらの助成について、活 ら助成対象事業として認めていただい れぞれに日本財団及び福祉医療機構か また、 本構想は昨年度、 今年度とそ

培技術の向上と、販路拡大のための都 れまでの活動を振り返りますと、まず 「農業部門」では、 様々な支援を得て展開されてきたこ 地域農業団体との連携による栽 栽培作物の選定を

かし、道のりは始まったばかり。

ています(下記参照)。 構成され、それぞれの活動目標を掲げ

- <H26,H27日本財団助成事業>

- くゆたかな心をはぐくみ、活動全体の活力を高める
- (魅力)の創造・心の連携>

化を行って収益性の向上を図ってきま 市部への出張販売 した。また、 「ブリッジスクール部門 (マルシェ) の定例

門」では、山梨県立図書館に於いて県 講生に対して、 てきました。さらに、 なっている様子が見られるようになっ 多かった受講生にとって、知識だけで で社会の中で孤立し疎外されることの 加の準備をする等の講座を行ってきま れらを総合して障害者就職セミナー参 な心構えやマナーとともに、正しい自 あるなしに関わらず、共につくること たうアート展」を開催し、「障がいの 内の各事業所と連携した「つなぐたゆ の学び直しの場となり、 なく社会との絆を結び直す広い意味で した。こうして皆で一緒に学んでいく に迫ることができました。 つながりを育む」というテーマの実現 によって生まれる心と、人と社会との ことによって仲間意識が醸成 評価とは何かを一緒に考えたり、 毎月2回の講座を定例化 社会参加する上で必要 「アート企画部 大きな励みと 今ま

ート企画部門」では、作品及び活動のより広範で多様なニーズへの対応、「ア門」では、カリキュラム内容の充実と、的雇用の創出、「ブリッジスクール部と製品化、及び就労困難者向けの中間と製品化、及び就労困難者向けの中間が加価値を高めるための農産品の加工が、「農業部門」では、「成果の一方で、「農業部門」では、

社会的評価の向上と、収入に繋がる仕社会的評価の向上と、収入に繋がる仕人会のでは、ひきこもりの方や発達障害を抱えが、ひきこもりの方や発達障害を抱える方等、社会とのつながりが薄い方達と地域との関係構築、及び、それぞれの活動に関する専門性のさらなる向上と、中心となって活動する専任人をいました。そして、つの確保という課題では、収入に繋がる仕社会的評価の向上と、収入に繋がる仕



とも変わらぬご支援の程、 安定的に持続し発展できる確かな活動 サーを厚く募っていきたいと思ってい 知して、経済的、 題の解決と共に、さらに、インターネ のりはまだ遙かですが、皆様には今後 の基盤を築きたいと考えています。 為の道を付け、 ます。そうして、 して得られるよう、協力者及びスポン することの社会的意義を広く社会に周 れまでの成果とこれから実現しようと ットや一般向けのワークショップ等に なネットワークを構築し、本構想のこ よる情報発信、 来年度以降、 上げます。 各部門で上げられた課 情報収集を通して広節 まずは今後の10年、 社会的な支援が継続 跡を継ぐ次の世代の



### 八ヶ岳名水会の地域の中での農業のあり方

-NPO 法人化プロジェクトの目的と方向性-

多機能型通所事業所 春の陽 管理者 成島公幸

平成 26 年度日本財団から補助金をいただきながら日野春学舎構想が始まりました。内容としては農業部門、就労支援部門、アート企画部門の3部門に分かれ、それぞれの角度から法人内に留まらず、地域全体の課題として改善していくという企画です。農業部門においては、平成29年4月NPO法人化に向けての活動計画を立て、地域の方々の参加協力も頂きながら生産、加工、流通それぞれの段階での課題整理と方向性の確認をしながら事業展開をしている状況です。最終的にNPOとして独立させることには二つの目的があります。第一に耕作放棄地が増える中で、地域就農者との協働による地域活性、第二に就職困難者、障がい者のしっかりとした雇用の場をつくるという目的です。名水会の数ある日中活動メニューの中の一つとして農作業は継続力と体力作りの目的で始められましたが、年を重ねるごとに規模が拡大していき、福祉法人での管理範囲を超えたのも伏線にあります。現状として、過疎化する北柱市において日野春、小荒間圏域合わせて4町歩の圃場地を管理しながら就職希望者受け止め準備をしています。





計画の中での一年目に当たる平成 26 年度においては生産面で圃場地の整理と確保、並行して過去と今後の生産品目の精査を行いました。流通販売面では月に一度の都内でのマルシェの開催や連携法人 NPO パンジーが運営する米心亭への協賛も行い、地域展開の基盤つくりを始めました。

平成27年度は、実際に加工までを視野に入れた品目の播種、圃場管理、収穫までの一連の流れを実際に行い、それに伴う実労働時間や収穫時期、収穫量の数字出しを主眼に置いています。同時に、地域就農者集まりである社団法人「里くら」からの農業指導も仰ぎなら、軸となる管理体制の確立も行っている状況です。

三年目の平成28年度においては実際の加工、流通、販売のための安定した収穫量の確 保が掲げられます。また、加工場の開設も視野に入れています。現状としてトマト、ニン 二ク、梅等の生産物は外部加工場にすべて委託している状況です。加工の工程として洗 净、加熱、裏ごし、ピューレ軽量、ビン詰め、シール貼り等多々の職域があります。外部 に委託することにより本来職の場を提供することも目的の一つなのですが、わかりやすく 金銭も発生させやすい仕事を自ら放棄している状態です。加工場を開設する事は就職困難 者に対して職の場を提供することが第一の目的であり、第二に地元の生産者の持ち込んだ 生産物も加工して生産者に返還することにより地域農家の活性にもつながります。他の総 合的な見地からの計画として、加工品のブランド化も考えています。味噌、トマトソー ス、各種ジャム等をデザイナーも含めたチームの中でブランディングをした上での販売展 開を視野に入れています。他にも、ホームページの継続運営による宣伝活動や、NPO 法 人の毎月の会報誌の発行発送、グリーンツーリズムによる各種農業体験や各種イベント、 マルシェを継続開催することなど丁寧に形にしていきたいと思います。結果的に、生産者 同志のつながりや一般の消費者からの認知度も高めていくことになると感じます。雇用の 場として、圃場管理等の生産活動、加工部門、宣伝や商品管理等の事務活動の三部門を軸 として考えていく上で、日野春学舎構想の一端であるブリッジスクールからの就労基盤が できた就職希望者の受け止めも随時行っていければ幸いです。







全体構想としては法人化そのものが目的ではなく、就労の場を提供することで本人が望む生活ができるように、大勢の人が関わりながら継続的に支援するという場作りをすることが大きな理念としてあります。農業を情報発信としてソーシャルファームが形成され、最終的には地域との共存共生が実現できればと考えています。

ふつうの場所でふつうの暮らし・・・いい言葉ですね。

### 小部視察研修報告

# 「私たち見学に行ってきました!」

# 支援センター陽だまり社会福祉法人 ハヶ岳名水会

### 中村 和稔

ではて、どうしたものか…』と頭を抱えてしまうような課題でした。 支援センター陽だまりが菜の花から の整理をしていく過程で、居住支援会 の整理をしていく過程で、居住支援会 の整理をしていく過程で、居住支援会 がらいくつかの部門に分けて、今私が からいくでかの部門に分ける課題

状況の中で、「県内外問わずに短期入所をつけていいのかわからない、そんなで担うのには限界がきていることや、で担うのには限界がきていることや、で担うのには限界がきていることや、場所の問題、スタッフの配置など問題場所の問題、スタッフの配置など問題場がの確認や地域におけることが、現状の確認や地域におけ

はどうか?」という意見が出て、今回はどうか?」という意見が出て、今回はどうか?」という意見が出て、今回はどうか?」という意見が出て、今回はどうか?」という意見が出て、今回はどうか?」という意見が出て、今回

では、 加する機会を頂き、 ました。 った施設職員が数多くい 員と話をして、山梨県には志や力をも 今回の外部施設見学などの研 ないかと感じています。 山梨県の福祉の未来は明る 私自身もその方々から刺激を 他 法 人の事 ることを知り 業所職 修に参 いの

なっていければと思います。 私もその一端を担っていく支援員に

## 春の陽 のはら樂団社会福祉法人 八ヶ岳名水会

立ち上がりました。

清水 和恵

であることや名水会としてのサービスと中ポツとの連携なしには持続が困難て、障害者就労においては、生活支援私は、今回の外部施設研修に参加し

とができました。 取り組むべき課題として明確化するこ内容を充実させることの重要性などが

をして

1

、る他

 $\mathcal{O}$ 

法人施

 $\mathcal{O}$ 

見学をして

持することの重要性を痛感出来たことに法人運営でありながら、「ブルースカルの違いにふれました。意識の落としルの違いにふれました。意識の落としいの違いにふれました。意識の落としいの違いにふれました。意識の落としいの違いにから、同様を将来的に立ち上げるにあたり、同様を将来的に立ち上げるにあたり、同様なるとの重要性を痛感出来たことがある。

ることが出来ました。跡に触れ、私も今後のやりがいを感じ提供後のクレーム対応など確かな軌

が何よりの成果と感じています。

た。 り組みを手掛けていきたいと思いまし 状を調べて、ニーズ対応を踏まえた取 これからは県下における HACCP の実

題に向き合っていこうと考えています。を借りるなどの検討を含め、様々な課会 技術参与である新蔵登喜男氏の胸締役 公益社団法人 日本食品衛生協 有限会社 食品環境センター代表取

# 女取の泉



一カ月過ぎましたが、 春の陽に勤務となり

す。 すの 度等初めてのことで日々手探り状態で 職 よろしくお願いします。 場では ト 出 ル で健 スなど発症し これからインフルエンザ、ノロウ 来たらと思います。 康管理と医療 名前を覚えることや仕事の支 やす 盆に VI 時 これからも 期 お に 11 になりま てサポ



菜の花

日

向

かおるさん

年目になりました。菜の花に勤務して八

仕事をしています。以前に比べて高齢は他のスタッフと共同しながら楽しくえずに戸惑うこともありましたが、今最初のころは看護師としての役割が見

タッフ さんに寄り添いながら看護師 果たしていきたいと思います。 業務も増えてきました。 が求められるなど、の利用者さんが増え 間の連携を大事にして、 者さんが増えたり、 看護師 これからもス 医 として担う  $\mathcal{O}$ 的 利用者 役 アケア 割 を



菜の花

平成二十四年五月よ

長年勤 花に移る 境です。 ヤー しく働 身体も健康に、 たいと願 いができていかれるよう頑張って 1 かせていかれるの に 、 事 の 就 をかけているというのが、 転 けることを願っていきます 焦燥感が、 動してきました。 めていた経験は今どのように生 Ļ 利用者さんの一人一人が心も っています。 平成二 生活できるようお手伝 ŋ 日 か、 十五年五月 名水 々自分にプレッシ 私生涯現役 全く見えていな 会 般の病院に つから 一の里」 今の心 いき 菜の で楽





仲山保子さんのはら楽団

団」で看護師として 九月より「のはら楽

れ、 と思い 護師 この環境に身を置くうちに緊張 は隔 務経 関係が築かれていると感じられました。 お っていきたいと思い が過ぎた今でも自由 い気持ちに導かれたのでした。 て日を重ねるうちに職員 んは自然体で元気に挨拶語りかけてく で緊張している私でしたが、 と思いました。 第一印象は 11 明るい雰囲気と思いました。 7 たりを感じさせない自 験だったので、 として健康管理を行いながら 、ます。 11 、ます。 きす。 これか 自由で開かれ 11 勤務当日 ままで病院だけの この ますの ?らも職! な開かれた施設だ 施設に 、と利用者間 は た施 員 由 でよろし 期待と不安 利用者さ で平等  $\mathcal{O}$ 二か月 設だな は楽 来て 頏 そし 員 看 し な に  $\mathcal{O}$ 勤

ていきたいと思います。がいつまでも途切れぬよう皆で協力しちがご活躍されています。暖かい支援名水会では他にも多くの看護師さんた

### ありがとうございました!

○題字を書いてくださった方 後援会員

相澤

星の里利用者 表紙絵を描いてくださった方

相澤

啓

様

 $\bigcirc$ 

# 素敵な字と絵をありがとうございまし

た!

### PC譲って下さい

としている。今年一年、耳を塞ぎたくな

そんな中、平成二十七年が過ぎよう

ります。) ありませんか?菜の花に譲って下さい。 います。家で眠っている中古パソコンは (OSがW-N 菜の花ではPC(パソコン)を集めて XP以降のものに限 発テロ。どれも目を疑うような情報が連 ん問題。フランス・パリで起きた同時多 がする。マンションの杭打ちデータ改ざ るようなニュースが多かったような気

問い合わせ連絡先 0551-45-7501 ハケ岳名水会 (菜の花 廣瀬)

あると思う。そう横綱の土俵入りのよう 為に、足元をしっかり固めていく必要が り、誠実で清らかな世の中を作っていく かし、こういう時代だからこそ基本に戻 なっていくのだろうと不安になった。し 日報道され、この先世界はいったいどう

### 編集後記

う少しの辛抱だからな」と優しい言葉を 退後の新弟子検査の際、小柄な舞の海関 北の湖氏の有名なエピソードがある。引 よりお祈りいたします。 を吐かない、昭和の大横綱のご冥福を心 いつでも周囲の人を気遣い、絶対に弱音 掛けていたのが北の湖氏だったという。 臨んだ時があった。その時「痛いか?も が身長を稼ぐ為、頭にシリコンを入れて た横綱は孤独だったに違いない。そんな 撲協会の理事長だった北の湖氏が六十 しいほど強い」世間からそう言われ続け 歳の若さでこの世を去った。「憎たら 大相撲の第五十五代横綱で、 日本相

### 社会福祉法人 八ヶ岳名水会

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間 1095-7

0551-32-7355 FAX 0551-32-7350

hoshinosato@coast.ocn.ne.jp **URL** http://www4.ocn.ne.jp/~hosi7355/

### 広報委員会スタッフ

錦見祐治 (陽だまり) 廣瀬政光 小池翔 穂坂雄太 浅利美衣(以上菜の花) 高柳優(以上春の陽) 望月杏沙美 伏見祐司 相吉謙輔(以上星の里) 阿部通洋 村瀬成美 (ぽーら) 立川瞳(相談支援) 坂本むつみ(以上事務局)

